
イチゴミルクと永遠の愛

昴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イチゴミルクと永遠の愛

【Nコード】

N8697A

【作者名】

昴

【あらすじ】

彼はオレ様。しかも超キザ。そして、軽い男。そんな彼と付き合い合っている私の運命は

×1 キザな男

「俺と、してみない？」

イチゴミルクより、甘い恋」

頷いたその日から、私と彼の恋は始まった

「侑登。帰ろ？」

「おう」

彼はオレ様。

しかも超キザ。

そして、軽い男。

こんな最悪な彼だけど、

私は、付き合うことにした。

だって、付き合った経験なかったし・・・

そんな簡単な理由で。

「静羽、今日どっか行く??誕生日だろ?」

「誕生日、覚えててくれたんだ」

「あたりめえだろ」

「ありがとう。じゃあ、図書館に行きたいな」

「またあ??」

「あそこが好きなの」

いつもデートは図書館か公園。

侑登は遊園地とか、そういうところに行きたいみたいだけど、

私はここが好き。だって、勉強大好きだから。

「じゃあいい?。」

「どこでもいいって」

木製の綺麗に磨かれたテーブルに座る。

そして、今日の宿題を取り出す。

「なあ、こいつてどうすんの?？」

「三角形の面積の公式・・・」

「は?なんだそれ」

「だあかあらあ・・・。小学生レベルだよ?侑登」

「・・・下×縦÷2?」

「・・・別に間違っちゃいないけど・・・。底辺×高さ÷2だよ」

「いいじゃん。俺のやり方だし」

少し呆れながらも勉強を教えていると、

一人の青年が声をかけてきた。

「鷹風さん??」

「橘くん」

顔が、一瞬で赤くなった。

橘くん……。やっぱり、カッコイイ……。

橘くんは女子の憧れの的。優しいし、カッコイイ。それに、秀才だから。

「勉強?？」

「うん。橘くんは?？」

「僕も勉強」

優しい微笑みを浮かべながら言う彼に、うつとりしながら耳を傾ける。

そんな彼女を見て、侑登は眉間にしわを寄せている。

「じゃあ橘くんも一緒にどう？別に、席開いてるし」

「え、でも……。彼、いるよ？」

「いいよ、ただの勉強だし。いいよね、侑登？」

「勝手にしろよ」

誰だ？こいつ・・

なんで静羽がこんな顔をしてる？？

好きなのか　？？

確かに、俺たちはお試しの付き合いだけど

「橘くん、ここ、どうするか分かる・・？？」

「ああ、そこはね、こつやって・・」

気に食わなかった。

こいつが、静羽によく思われているということが。

×1 キザな男（後書き）

これからも、頑張って書いていくつもりなので、よろしく願います！！

ネット小説ランキングに投票 よろしくですっ （月一回）

<http://nnr2.net/novel.org/rank03/ranklink.cgi?id=riririri>

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8697a/>

イチゴミルクと永遠の愛

2010年12月19日02時43分発行